

中期計画戦略委員会

「SIAAマークの信頼性の更なる向上」

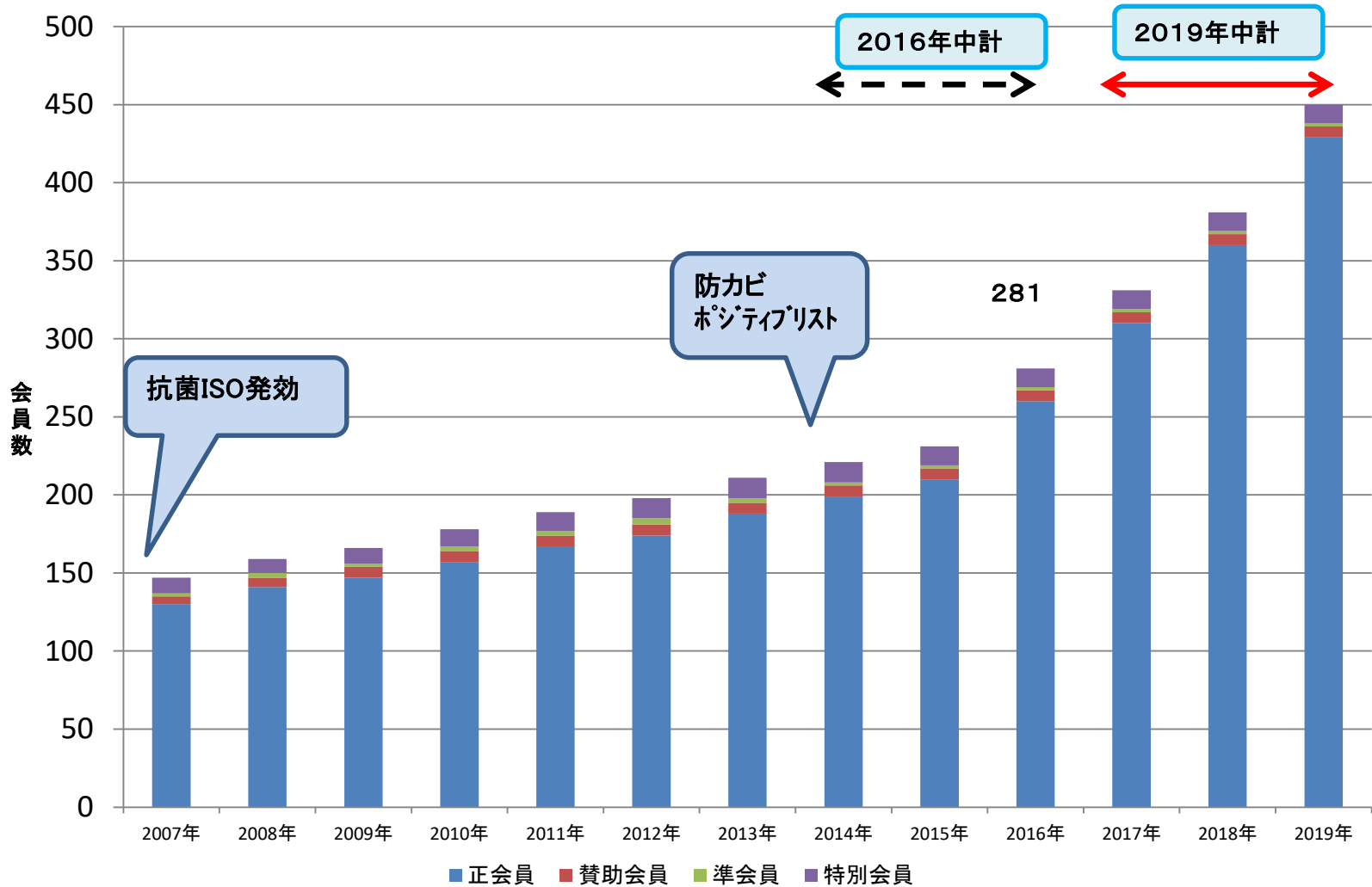
2018年1月29日

2017年度委員会活動報告会

1. SIAA(抗菌製品技術協議会)概要

- 発足
1998年 6月(任意団体 抗菌製品技術協議会設立)
2010年10月(一般社団法人設立)
- SIAAマーク
1998年12月 第1段運用開始
2001年 7月 第2段(抗菌JIS混合)運用開始
2007年11月 第3段(ISO22196準拠)運用開始
- 会員数<内訳:2016年>
2016年 国内会員 254社
海外会員 27社 計 281社

1. SIAA会員数の推移



2. 2019年3カ年中期計画 将来ビジョンと基本方針

- 将来ビジョン(将来の目指す姿)
 - 抗菌、防カビ、抗ウイルス、抗バイオフィルムの幅広い機能において消費者の安心・快適・安全を提供するSIAA。具体的には国内外の多数の加工製品メーカーがSIAAの会員となっており、その製品には多機能のSIAAマークがついている。消費者はSIAAマークのついた製品を安心と安全の証として選択している。
- 基本方針
 - ①SIAAマークの認知度及び信頼性の向上
 - ②SIAAマークシステムのグローバル化の推進

3. 基本方針と重要課題

基本方針

①SIAAマークの信頼性及び認知度の更なる向上

1)定期的な性能チェックの導入

2)イノベーション企画

②SIAAマークシステムのグローバル化の推進

1)試験方法のグローバル化

2)アジア中心に抗菌製品市場の育成

重要課題

期間：東京オリンピックに向けた活動期間として3年間

4. SIAAマークとは(抗菌)

SIAAが制定したシンボルマーク。
3つの基準を満たした製品にSIAAマークを表示。

SIAAマークの3つの安心

1. 抗菌性

- ・抗菌未加工製品の表面と比較し、細菌の増殖割合が1/100以下であり、耐久性試験後も抗菌効果が確認されること。
- ・抗菌性は国際標準ISO22196に準拠した試験結果に基づく。

2. 安全性

- ・SIAAが独自に決めた安全性基準を満たしていること。

3. 適切な表示

- ・抗菌剤の種類、加工部位を明示していること。

4. SIAAマークとは(防カビ)

SIAAが制定したシンボルマーク。
3つの基準を満たした製品にSIAAマークを表示。

SIAAマークの3つの安心

1. 防カビ性

- ・抗菌未加工製品の表面と比較し、特定防カビの生育が基準より抑えられていることが確認されること。
- ・JISに準拠した試験結果に基づく。

2. 安全性

- ・SIAAが独自に決めた安全性基準を満たしていること。

3. 適切な表示

- ・加工製品・防カビ剤の登録番号、加工部位を明示していること。

4. SIAAマークとは(自己認証・自主管理)

(1) 会員が、協議会ガイドラインへの適合を
自己責任において認証する

→ 「自己認証を表明するマーク」

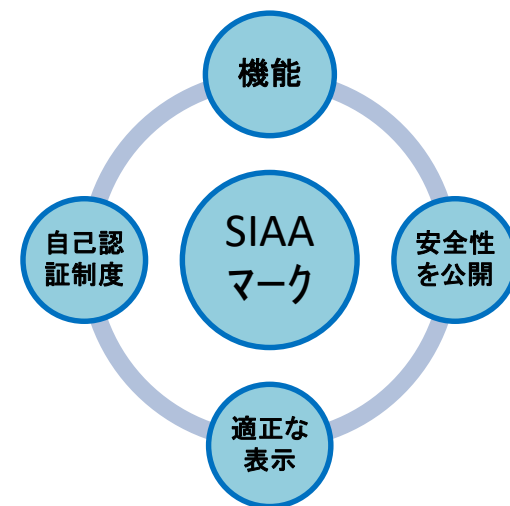
(2) 品質と安全性に関する情報が公開されている

→ 「品質と安全性に関する情報開示マーク」

(3) 品質等を自主的に管理する管理責任者を選定する

→ 「自主管理するマーク」

- ・SIAAマークは、SIAA会員以外は使用不可。
- ・表示方法等の運用は、協議会の自主管理によって厳しく市場監視。



5. ① SIAAマークの信頼性の更なる向上

-1)定期的性能チェック導入の意義・メリット

背景

- ・SIAAマークは、性能基準を根幹とした自己認証制度にて国内外への展開を進め、会員数が年々増加
 - ・抗菌、防カビに加え、抗ウイルス、抗バイオフィルムと拡大
 - ・中韓他アジア地区での国際抗菌組織(仮称)設立を検討
- SIAAマークの消費者への社会的責任が年々高まっている。

メリット

- ・初回登録時は抗菌試験データを提出
 - ・以降は、会員各位の自主管理に任せる
- SIAAが定期的な性能チェックの管理を行うことでSIAAマークの信頼性向上。SIAAと会員、およびSIAAマークの信頼を高める。

6. アンケート調査

目的

- ・会員の品質管理状況の把握（抗菌加工製品から）

内容

- ・品質管理に関する質問
- ・自己認証システムに関する質問
- ・性能チェックに関する意識調査

→ 具体的な質問内容は、別紙



7. SIAAマーク製品の品質管理に関する質問(抜粋)

1)	品質(抗菌性又は抗菌成分)を管理していますか？ Yes No
2)	Yesの場合 どのような方法で管理していますか？ ・製造原料の品質管理 ・降雨乳原料の品質管理 ・購入抗菌部品(樹脂成型品等)の品質管理
3)	どのくらいの頻度で実施していますか？
4)	管理する対象製品の区分はどのように決めていますか？
5)	抗菌力試験を実施している場合、どの機関で実施していますか？
6)	購入樹脂・購入抗菌剤等の分析を実施している場合、どの機関で実施していますか？
7)	Noの場合 その理由を教えてください
8)	どのような方法で管理すべきと考えますか？

8. 自己認証システム・自主規格に関する質問(抜粋)

1)	関係部署に、自己認証システムを周知させていますか？ Yes No
2)	Yesの場合 どのような方法で周知させていますか？ ・文書での連絡・周知 ・会議での連絡・周知 ・その他
3)	Noの場合 どのような方法で管理すべきと考えますか？
4)	関係部署に、「品質と安全性に関する自主規格」を周知させていますか？ Yes No
5)	Yesの場合 どのような方法で周知させていますか？ ・文書での連絡・周知 ・会議での連絡・周知 ・その他

9. 性能チェックに関する質問(抜粋)

1)	ISO9001品質マネジメントシステムを運用されていますか？ Yes No
2)	SIAA登録製品の定期的な性能チェック(抗菌力評価)は必要と思われますか？ Yes No
3)	Yesの場合 どのような方法での性能チェックが望ましいと考えますか？ ・自社評価 ・第3者機関による評価 ・その他・化学分析等
4)	性能チェックの頻度はどのくらいが必要と思われますか？ ・1回／1年 ・1回／3年 ・1回／5年
5)	性能チェックにかかる費用はどのくらいが望ましいと思われますか？ ・5万円以下 ・10万円以下 ・20万円以下

10. 今後の進め方

- 「SIAAマークの信頼性の更なる向上」策

- SIAAマーク製品（抗菌）の

- 品質に関する質問

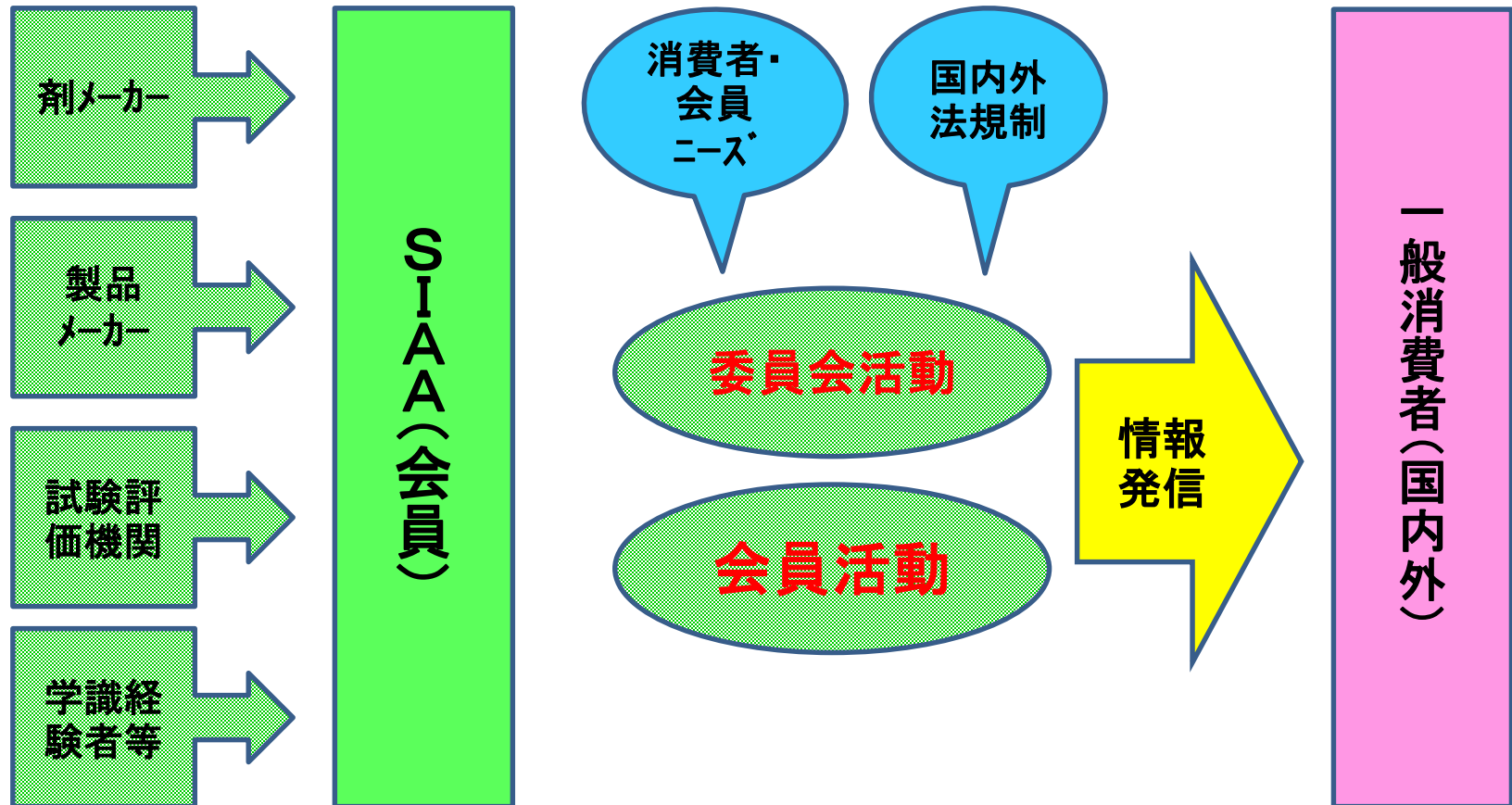
- 自己認証システムに関する質問

- 性能チェックに関する意識調査

→ アンケート調査結果を参考に、

「SIAAマークの信頼性の更なる向上」策を策定

11. 最後に(SIAAの発展)



一般消費者への社会的責任を果たし
SIAAおよび会員の発展を図る

<参考> 基本方針・重要課題と主管委員会

基本方針	重要課題	主管委員会
①SIAAマークの信頼性及び認知度の更なる向上	1)定期的な性能チェックの導入	・中期計画戦略委員会 ・制度運営委員会
	2)イノベーション企画	・SIAAマーク表示推進委員会
②SIAAマークシステムのグローバル化の推進	1)試験方法のグローバル化	・抗ウイルス委員会 ・バイオフィルム標準化委員会
	2)アジア中心に抗菌製品市場の育成	・国際展開委員会